

～号外メルマガ用～
Web会議
ソリューション
比較

株式会社 シティアスコム



～はじめに～

本資料は、Web会議ソリューションの特徴を理解していただき、企業のやりたい会議の方法に合ったソリューションを選択していただくために、作成された資料です。

そのため、ソリューションそのもののを比較し優劣をつけた比較資料ではありませんので、予めご了承ください。

本資料記載の内容を参考に、企業にとって最適なソリューションを選択できることを期待しております。

1. 比較したWeb会議ソリューション



Microsoft Teams

Office365の中のサービスで、Web会議以外にチャットやストレージ機能（ファイル共有）が利用可能
企業での利用においては、Office 365 E1もしくはBusiness Essentials以上に付帯しているサービス

¥540～（月額1ユーザー）
※ライセンスプランにより価格は変動

zoom

ZOOM

クラウドを使用したWeb会議サービスとしては、後発組ではあるが、すでに世界75万以上の企業や組織で利用されている。通信利用時に独自の圧縮技術により、画像（動画）・音声ともに品質が良い。利用制限はあるが、無料ライセンスもある

¥30,000～（年額1ユーザー）



V-CUBU

テレワークで日本を変える
V-CUBE

日本国内のメーカーで、シェアもトップクラス。5,000社を超える企業で利用され、音質・画質が自動調整され、少ない帯域で利用可能。通常の会議はもちろん、Webセミナーの機能もセットになったオールインワンのライセンス体系となっている

オープン価格（年額1 port）※同時接続数

2. 具体的な比較（会議の設定方法）



Microsoft Teams

コメント：メールを送信する手順でTeams会議の依頼ができるため、操作は簡単。社内の会議に利用することで、スケジュールも登録されるため、スケジュール調整が楽にできる

Outlookの予定表から日時を選択し、「Teams会議に参加」を選択すると、メール本文にTeams会議に参加するためのリンクが表示される。参加をしてもらいたい人（外部の人でも可能）のメールアドレスを入力して送信する

Teamsの「予定表」を選択し、日時・参加者を入力し「送信」ボタンをクリックすると、参加者（外部の人でも可能）にTeams会議に参加するためのリンクが送信される

2. 具体的な比較（会議の設定方法）



コメント：会議のスケジュールを作成するだけで会議を設定できる。参加者には、自分が使っているメールシステム（OutlookやGoogleなど）に連携されるため、メール送信時と同じ操作で依頼ができる

ミーティングをスケジュールリング

トピック
佳子 麗本の Zoom ミーティング

開始: 月 4月 20, 2020 12:00

経過時間: 0 時間 30 分

定期的なミーティング
タイムゾーン: 大阪、札幌、東京

ミーティングID
 自動的に生成 個人ミーティングID 517-378-1582

パスワード
 ミーティングパスワード必須 9Y11z0

ビデオ
ホスト: オン オフ 参加者: オン オフ

オーディオ
 電話 コンピューターオーディオ 電話とコンピューターのオーディオ

カレンダー
 Outlook Google カレンダー 他のカレンダー

詳細オプション

スケジュール キャンセル

ZOOMのアプリから「スケジュール」を選択し、左画面のように会議内容を入力
ミーティングID、パスワード、ビデオのON・OFF、連携するカレンダー種類
画面下部の「スケジュール」ボタンをクリックすると、連携するメールシステムに会議URLがついた状態で、立ち上がる

会議依頼を送信したい相手のメールアドレスを入力して「送信」をクリックすると、相手にリンクが送信される

佳子 麗本の Zoom ミーティング

必須(U)

任意(P)

開始時刻(T) 2020/04/20 (月) 12:00 終日(Y) タイムゾーン(Z)

終了時刻(O) 2020/04/20 (月) 12:30 定期的な予定にする(A)

場所 https://zoom.us/j/91172154360?pwd=chdEaDI0ak9kNnR0hKY2p5SWURoZ09

佳子 麗本さんがあなたを予約された Zoom ミーティングに招待しています。

Zoom ミーティングに参加する ↓
<https://zoom.us/j/91172154360?pwd=chdEaDI0ak9kNnR0hKY2p5SWURoZ09>

ミーティングID: 911 7215 4360 ↓
パスワード: 9Y11z0

2. 具体的な比較（会議の設定方法）



V-CUBE

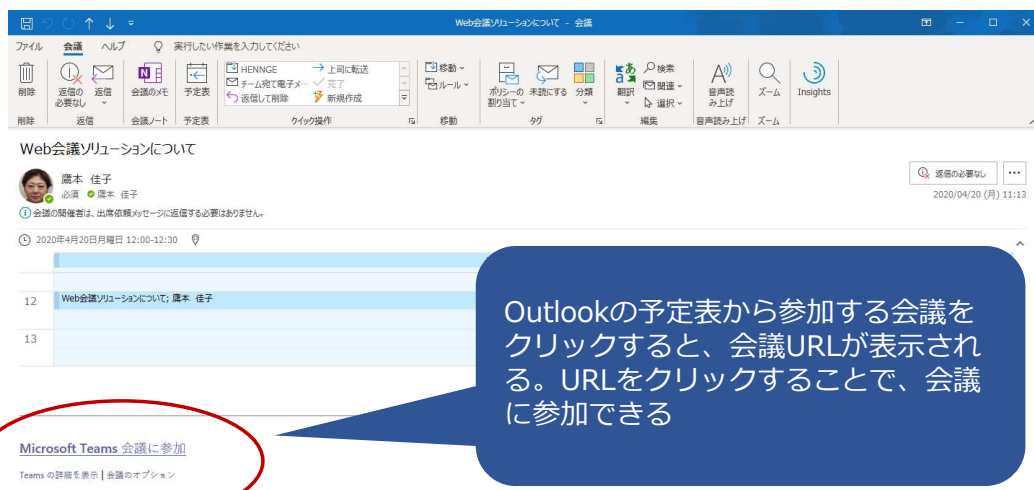
V-CUBE

コメント：会議予約のタブ1画面でスケジュール・参加者など全てが完結できる。参加者へのメールも自動送信のため、設定から依頼までのステップ数が少ない

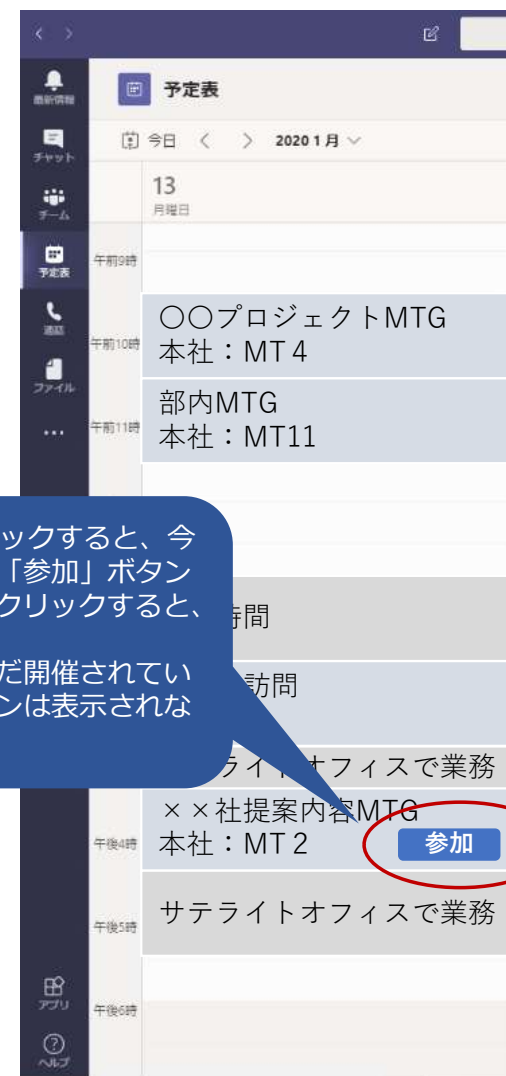
2. 具体的な比較（会議の始め方）

Microsoft Teams

コメント：予定表に登録されているため、スケジュール（OutlookもしくはTeams）から、参加する会議をクリックするだけの操作。外部の参加者は送付されたメールのリンクをクリックするだけ（インストールなどの操作は必要ない）



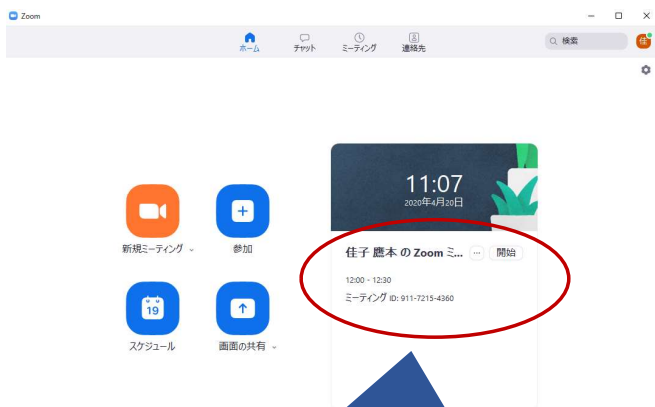
Teamsの「予定表」をクリックすると、今から参加する会議の予定に「参加」ボタンが表示される。「参加」をクリックすると、会議に参加できる
※すでに終了した会議やまだ開催されていない会議には「参加」ボタンは表示されない



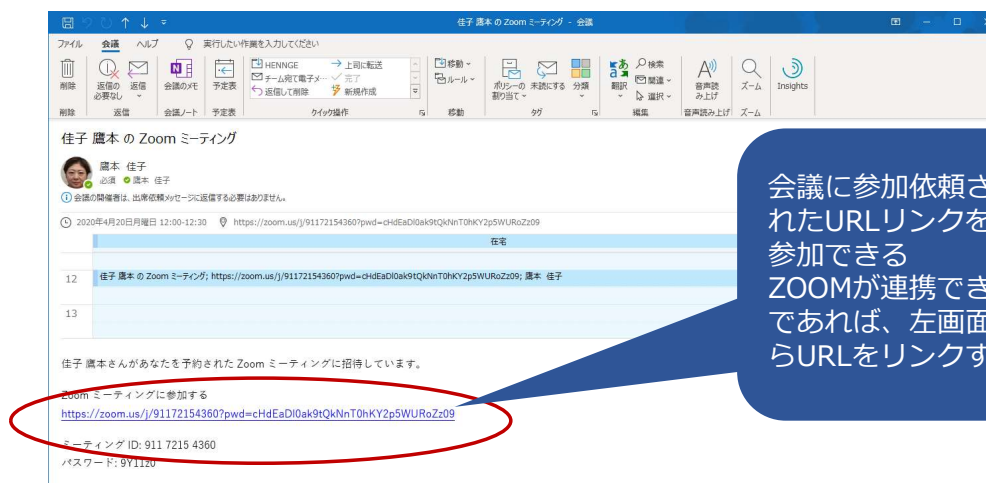
2. 具体的な比較（会議の始め方）



コメント：会議主催者は、管理画面で確認と会議開始が可能。参加依頼者は、事前に送信されたメールのリンクをクリックするだけ（初めて利用する場合に、インストールを求められることがある）



会議を主催した人は、ZOOMのアプリ画面に今から開催される会議の予定が表示されるため、「開始」ボタンをクリックすることで、会議に参加できる



会議に参加依頼された人は、事前に送付されたURLリンクをクリックすると、会議に参加できる
ZOOMが連携できるスケジュールシステムであれば、左画面のようにスケジュールからURLをリンクすることも可能

2. 具体的な比較（会議の始め方）



V-CUBU

V-CUBE

コメント：会議主催者・参加者ともに、会議設定をした際のURLで会議に参加（初めて利用する場合に、インストールを求められることがある）ブラウザ経由で参加も可能



V-CUBE ミーティング 5

Web会議の予約完了

Web会議システムのご利用ありがとうございます。
下記の会議を予約し、参加者を招待しました。

Web会議ソリューションについて

開催日時 2020-04-20 11:00 ~ 2020-04-20 12:00(GMT +9)

メッセージ 参加ください。

会議の招待者 シンエイ太郎 様
メールアドレス: yoshi-takamoto@city.co.jp
招待URL: <https://mtg51.vcube.com/r/3678fd80ee0962496197f3b>

暗証番号で入室する場合
暗証番号: 00185891
※PCやモバイルから暗証番号を利用してWeb会議へ参加できます。
またV-CUBE Boxなどテレビ会議端末で会議を行っているときに、画面を共有したい場合もこの暗証番号を利用します。詳しくは[クイックマニュアル](#)をご覧ください。

会議を設定した時に配信されるメールに会議URLがついているので、時間になったら、URLリンクから会議に参加



V-CUBE ミーティング 5

Web会議招待のお知らせ

藤本 佳子 様から、下記のWeb会議への招待がありました。
お時間になりましたら「Web会議に参加する」ボタンをクリックして、Web会議にご参加ください。

Web会議ソリューションについて

開催日時 2020-04-20 11:00 ~ 2020-04-20 12:00(GMT +9)

会議URL <https://mtg51.vcube.com/r/3678fd80ee0962496197f3b>




メッセージ 参加ください。

Web会議に参加する

暗証番号で入室する場合
暗証番号: 00185891
※PCやモバイルから暗証番号を利用してWeb会議へ参加できます。
またV-CUBE Boxなどテレビ会議端末で会議を行っているときに、画面を共有したい場合もこの暗証番号を利用します。詳しくは[クイックマニュアル](#)をご覧ください。

会議に参加依頼された人は、事前に送付されたメールの「Web会議に参加する」ボタンをクリックすると、会議に参加できる

3. 具体的な比較（操作性）

比較項目	Microsoft Teams	ZOOM	V-CUBU
			
会議の設定	Outlookのスケジュールに親しみがある人なら、操作に迷うことはない Teamsで設定する会議もごくシンプル	設定は、日時のためのため、操作に迷うことはない OutlookやGoogleなど連携しているメールシステムを利用していれば、URLを送信するメール作成も自動で行ってくれるため、便利	会議設定画面ですべて完結されるように構成されているため、やや画面上の項目は多く感じるが、URLメール送信まで自動で実施するため、設定操作のステップとしては、最小で完了する
会議の参加	スケジュールに会議が連携されているため、ワンクリックで会議に参加できる	スケジュールに会議が連携されているため、ワンクリックで会議に参加できる ※連携できるスケジュールサービスのみ	メールで送信されたURLをクリックすると会議に参加できる スケジュールに連携されていないため、メールの保管が必要
セキュリティ	会議主催者が依頼した人を一旦待機させ「許可」することで、会議に参加させる機能あり 会議のPW設定などはない 背景を別の画像やぼかす機能有り	会議にPWを設定することで、会議主催者が依頼した人（PWを知っている人）しか参加できない 背景を別の画像やぼかす機能有り	会議にPWを設定することで、会議主催者が依頼した人（PWを知っている人）しか参加できない 背景を別の画像やぼかす機能有り

補足：ZOOMのセキュリティリスクについて

※ZOOMのセキュリティリスクについて、様々な見解がありますが、以下は、2020/04/17付けでトレンドマイクロが発信した内容を記載します。

トレンドマイクロは、「Zoom Bombing」、脆弱性、フィッシングという3つの問題点を紹介。

「Zoom Bombing（ズーム爆弾、ズーム爆撃）」：Zoom会議に招かれていない第三者が勝手に会議に参加し嫌がらせをする迷惑行為の総称で、単なる嫌がらせ行為だけではなく、潜伏してZoom会議の内容を盗み聞きして情報漏えいさせる、参考資料などに偽装したマルウェアを他の参加者に送付するなど、より悪質な行為も可能。これは、開催者が会議に対してパスワードを設定していない場合、ミーティングIDがわかれば誰でも会議に参加できるZoomの仕様に問題があるためです。

脆弱性：Windows、Macともにクライアントソフトにさまざまな脆弱性が残っていたことで脆弱性を悪用された場合には、第三者が認証情報を盗んだり、任意のプログラムを実行させたりすることが可能でした。Zoomは脆弱性に対処した最新バージョンを随時公開しています。

フィッシング：2020年頭からこれまでに“zoom”の文字列を含む新ドメインが3,300も確認されており、そのうちの7割近くが3月中に作成されたものだとの報道がありました。これらの新ドメインがすべて不正目的で作成されたとは言えませんが、サイバー犯罪者が、情報詐取を目的に準備している可能性が考えられます。すでに、パスワードを含むZoomアカウント情報がダークウェブ上で2,000件以上公開されていた、との報道もあります。




リスクを避けるために：

- ・常に最新バージョンのZoomを公式サイトから入手する。
- ・Zoom会議のURLが正規のものかよく確認し、安易にクリックしない。
- ・フィッシングなど、最新の攻撃手口を知り、騙されないよう注意する。
- ・会議には必ずパスワードを設定し、URLやパスワードは適切な参加者のみに教える。
- ・画面共有を「ホストのみ」に設定する。

状況によっては以下の運用も考慮：

- ・ミーティングIDを毎回自動的に生成する。
- ・「ファイル転送」を無効にする。
- ・参加者が会議に出入りしたときに音を鳴らし、気付けるようにする。
- ・「待機室」の機能を使い、承認したユーザのみが参加できるようにする。
- ・Zoomにログインしている認証されたユーザのみが参加できる設定する。
- ・参加予定者が集まり会議が開始したらロックし、想定外の参加者が入れないようにする。

4. 具体的な比較（ライセンス体系）

比較項目	Microsoft Teams	ZOOM	V-CUBU
			
ライセンス体系	ユーザーライセンス（人に紐付く形態）	ユーザーライセンス（人に紐付く形態） ※会議室に設置する形態の場合は、会議室に紐付くライセンス	同時接続ライセンス（人には紐付かない）
ライセンスの要否	会議主催者→要 参加者→否（250人まで）	会議主催者→要 参加者→否（1,000人まで）	会議主催者→要 参加者→要 参加する全てのライセンスが必要
支払い形態	月額利用料	年額利用料	年額利用料
ライセンスプラン	Office365 Business Essentials ¥540 ※利用者300人以下 Office365 E1 ¥870 ※利用者300人以上	Zoom Meetings-Pro ¥30,000 ※1-9ライセンスまで Zoom Meetings-Business ¥40,800※10-49ライセンスまで	V-CUBE One ※オープン価格 2ライセンス～販売 ※ミーティング・セミナー機能含む
最適な利用形態	組織内のコミュニケーションツールとしての利用頻度が高い 外部との会議が不定期で開催者も様々な形態	組織内でも利用するが、外部とのコミュニケーションとしての利用頻度が高い 研修など画像や動画を共有する会議が多い	参加者が決まった会議の利用頻度が高い 組織内で且つ遠隔地とのコミュニケーションツールとして利用

4. 具体的な比較（全体）

シティアスコムの観点にて、3ソリューションの詳細比較をした資料を別途用意しております。詳細については、当該資料を参照ください。

5. 体験について

ご紹介した3ソリューションは、本来の目的であるWeb会議の機能はありますが、その他の機能や画質や音質、ネットワーク環境、ライセンス体系が異なります。導入前に実際に3ソリューションを使ってみたい方は、メーカーのWebサイトから申し込むこともできますが、シティアスコムでライセンスで体験することもできます。

ぜひ、その目で自社に合ったソリューション選択の材料にしませんか？ご希望の方は、お気軽に営業担当へ連絡ください。

<https://bit.ly/3bqgv1X>



[お問い合わせは・・・sales@city.co.jp](mailto:sales@city.co.jp)へ